



16年間の歴史に幕

津別スキー場が閉鎖

スキー愛好者のみならず、町民の夢と希望がかない平成3年にオープンした津別スキー場

津別スキー場は3000mの6人乗りゴンドラを有し、道東一のスキー場として、その後建設されたホテルフォレストとともに上里地区リゾート開発基本計画「ヒューマングリーンプラン」の中核施設として地域活性化に貢献してきました。

また、平成8年の「スキーの町宣言」において、S（自然）K（健康）I（いきいき）をキーワードとするまちづくりの一翼を担った。

17日は800人、18日最終日は1000人 レストランも大盛況でした！



ゴンドラ乗り場は終日賑わいました



吹雪の中、最後の滑りを楽しみました

できたところまで。

しかし、昨年6月、所有・運営する(株)プリンスホテルの経営健全化により、津別スキー場の売却が発表されましたが、売却先が確保されず、町への無償譲渡が提案されました

が、今後営業を継続した場合、毎年発生する赤字と施設の維持・更新に多額の費用を要し、

津別スキー連盟会長 阿部博康さん



4日間連続、滑りに来ました。スキー場の閉鎖はとても残念です。スキー場は愛好者だけではなく、町の経済の柱だっただけに早急にそれに変わるものを考えていかなければと思います。

津別スキー場支配人 蝦名元樹さん



存続したいという気持ちはみなさんと一緒でしたがこのような結果になり非常に残念です。16年間、町の方々には大変お世話になったことに対しとても感謝しています。

エリーさん ジェフさん ロジーさん



北見市からスキーを滑りに来た仲良し3人組。エリーさんとロジーさんは初めての津別スキー場にとても美しいと感激していました。

新田繁子さん 采女俊子さん



土屋由利子さん 土屋幸子さん 屈斜路湖を見に来ました。でも吹雪で見れなくて残念です。スキー場が今日で無くなるのは寂しいですね。

津別スキー場の思い出



津別カップ回転競技大会で冬は開幕！



全日本スノーボード選手権大会！



13年間続いた津別かっこう大会

津別スキーでは一流選手が滑りを競い合いました！（楽しい大会も・・・）



平成3年12月にオープンした津別スキー場のオープンセレモニー。上里小学校の児童がくす玉を割りました。



平成8年12月にスキーのまちを宣言した津別町！ 式典には230人が参列し、仲本工事さんが講演しました。



今年2月の川端絵美杯ジュニアスキー大会は津別スキー場最後の大会になりました



津別スキー場から望む屈斜路湖は最高！



平成14年12月には長野オリンピック金メダリストの船木和喜さん(右) 原田雅彦さん(左) が津別スキー場で合宿を行いました！



船橋市民が冬の津別を楽しみました。